Panasonic®

工事説明書

ワイヤレスモニター付テレビドアホン

ブイエル エス ダブリュー ケイ

品番 **VL-SW200K**

（電源コード式）

VL-MW200K
（カラーモニター親機）........... 1 台
VL-W601
（ワイヤレスモニター子機）... 1 台
VL-V564-K
（カラーカメラ玄関子機）....... 1 台



VL-MW200K



VL-W601



VL-V564-K

工事をされる方へ

■ 正しく、安全にご使用いただくための工事・設置方法について記載しています。よくお読みいただき、工事説明書に従って工事を行ってください。
- ● 電源配線工事には、電気工事士の資格が必要です。
- ● 工事終了後は、必ず本書をお客様にお渡しください。

■ ワイヤレスモニター子機の設置については、別添付の取扱説明書を参照してください。

■ 別売の機器を増設する場合は、14 ～ 15 ページの「配線系統図」を確認してください。

■ 本書では、カラーモニター親機を「親機」、カラーカメラ玄関子機を「ドアホン」と表記しています。

もくじ

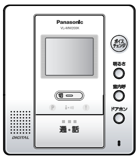
※ 既設の配線を使用する場合は、「工事について」の 6 ページを必ずお読みください。

本体と付属品・添付品

● ご確認のうえ、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

本体と付属品

□カラーモニター親機 .... 1 台



カラーモニター親機の背面にあります。

□壁掛け用木ねじ・小ねじ............ 各 2 個

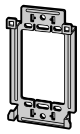


木ねじ
（4 mm × 16 mm）

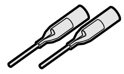


小ねじ
（4 mm × 25 mm）

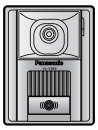
□壁掛け金具...... 1 個



□棒型圧着端子... 2 個



□カラーカメラ玄関子機................... 1 台



カラーカメラ玄関子機の背面にあります。

□壁掛け用木ねじ・小ねじ.......... 各 2 個



木ねじ
（3.8 mm × 20 mm）

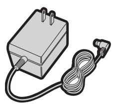


小ねじ
（4 mm × 25 mm）

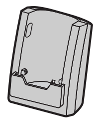
□ワイヤレスモニター子機..... 1 台



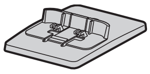
□AC アダプター......... 1 個
（長さ約 1.8 m）



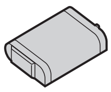
□充電台................... 1 個



□充電台スタンド................... 1 個



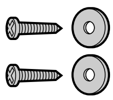
□電池パック................ 1 個



□電池カバー........... 1 個



□充電台壁掛け用木ねじ・ワッシャー ... 各 2 個
木ねじ（3.5 mm × 18 mm）



添付品

□取扱説明書.................... 1 冊

□ワイヤレスアダプター機能をご使用いただくには .... 1 冊

☑工事説明書（本書）........ 1 冊

□保証書........................... 1 式

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です）

🚫	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

■AC100 Vの電源直結工事は資格を持つ者が行う

感電の原因になります。

●電源配線工事には電気工事士の資格が必要です。
販売店へご相談ください。

■電源(AC100 V)を入れたまま配線工事をしない

禁止

感電の原因になります。

■雷のときは配線工事をしない

禁止

火災・感電の原因になります。

■機器の内部には絶対に触れない(高電圧あり)

接触禁止

感電の原因になります。

■指定以外の端子に電源(AC100 V)を接続しない

禁止

ショートして火災・感電の原因になります。

■質量に耐える指定の方法で取り付ける

ゆるみやはずれで落下し、事故の原因になります。

■コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、AC100 V以外での使用はしない

禁止

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■親機は水や薬品のかかる場所、湿気やほこりの多いところに設置しない

禁止

火災・感電の原因になります。

■チャイム線など既設の配線を利用する場合は、AC100 Vが通電されていないことを確認する

そのまま使用すると、感電の原因になります。

●販売店へご相談ください。

⚠注意

■屋外配線する場合は、雷サージ保護のため、避雷器を取り付けるか、保護管を使用して埋設配線する

感電の原因になることがあります。

■土中埋設配線する場合は、土中での接続はしない

禁止

絶縁劣化により、感電の原因になることがあります。

設置上のお願い

設置場所について

こんなところには設置しない

故障や通話不良などの原因になります。

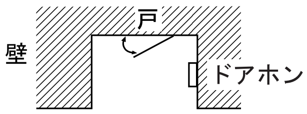
- 振動、衝撃のあるところ
- 硫化水素、リン、アンモニア、硫黄、炭素、酸、ほこり、有毒ガスなどの発生するところ
- 反響の多いところ
- テレビ、電子レンジ、パソコン、エアコンなど、電気製品の近く

親機の設置について

- 本機は、2.4 GHz（ギガヘルツ）の周波数帯の電波を利用しています。
  別添付の取扱説明書「使用上のお願い」および「電波について」をよくお読みのうえ、設置してください。
- 強電界地域では、映像や音声にノイズなどが入ることがあります。
- ドアホンから約 5 m 以上離して設置してください。
- 本体の上下左右に 20 cm 以上の空間をとってください。
  （誤動作や通話の途切れ防止）
- 本体を埋め込まないでください。

ドアホンの設置について

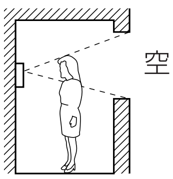
- 背面に水などが直接かからないようにしてください。
- 下図のように反響の多い場所では、「ピー」という音が鳴ることがあります。



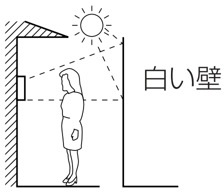
- 下図のような場所への設置は避けてください。

逆光になると、来訪者の顔が暗く映り、識別しにくくなります。

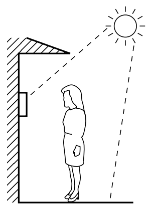
マンションの階上など、背景に空の占める割合の大きい玄関



正面に、直射日光が反射する白壁がある玄関



直射日光があたるような、明るい玄関



工事について

● 電源について：必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続する。

（1） 電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）に容易に手が届くこと。
（2） 3.0 mm 以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。
ブレーカーは保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。

● 既存または新設のドアホン配線などを接続する場合は、接続工事の前に、必ず大地アースと配線との絶縁抵抗、配線 2 線間の絶縁抵抗、および配線の線路抵抗値（直流ループ抵抗）を測定のうえ、右記の抵抗値と照合し、異常のないことを確認してから接続工事を行う。

絶縁抵抗値	DC500 V にて 1 MΩ以上
線路抵抗値	直流抵抗計にてループ抵抗 10 Ω以内（総長 100 m 以内で）

● 本機は電気設備技術基準による施工を行う。

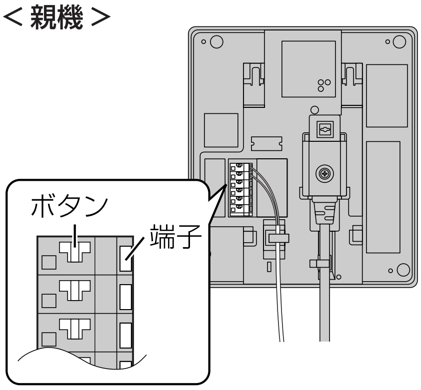
- 使用する埋込みボックス（電源線とその他の信号配線材の間）に、堅牢な隔壁を設ける。
- 金属ボックスを使用する場合は D 種接地を行う。
- 配線材は AC600 V 以上の絶縁電線を使用する。

● ノイズ障害が考えられる場合は、金属配管の中に接続線を通して工事を行う。
（金属管は必ず大地アースをすること）

● AC100 V 以上の電力線（電灯線）とは 1 m 以上離して配線工事するか、別々の金属管による配管工事を行う。

● 親機の信号線接続端子は、速結端子になっているため以下の方法での結線を行う。
（接続できる線種などについては、14 ～ 15 ページの「配線系統図」を参照）

< 親機 >



配線材を挿入する場合

- 配線材の被ふくを約 9 mm むく。
- ドライバーの先などでボタンを押しながら配線材を確実に端子に挿入する。

配線材を抜く場合

- ドライバーの先などでボタンを押しながら配線材を引き抜く。

● 誤配線、ショートなどがないことを確認後、親機の電源を入れる。

（次ページにつづく）

設置上のお願い（つづき）

工事について（つづき）

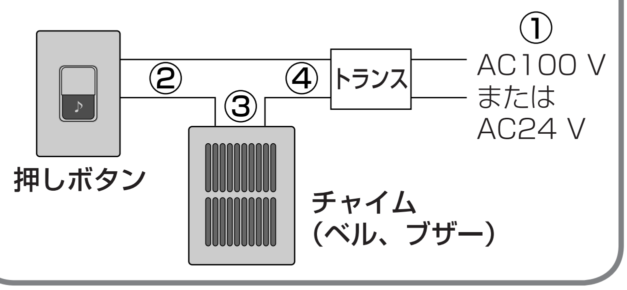
既設の配線を使用するとき

今お使いのチャイム、ベル、ブザー、テレビドアホン、音声ドアホンの配線を使用して、本機を取り付けるとき

- **既設の配線に電源（AC100 V、24 V など）が接続されている可能性があり、接続すると故障の原因になりますので、必ず電気工事士の資格を持つ方が工事を行ってください。**
- **工事の際は、まず既設配線の電源を切り、配線材の線種（φ 0.65 mm またはφ 0.8 mm）を確認後、下記の手順で配線してください。**
  ※線種がφ 1.6 mm のときは、φ 0.65 mm またはφ 0.8 mm の配線材に取り替えてください。

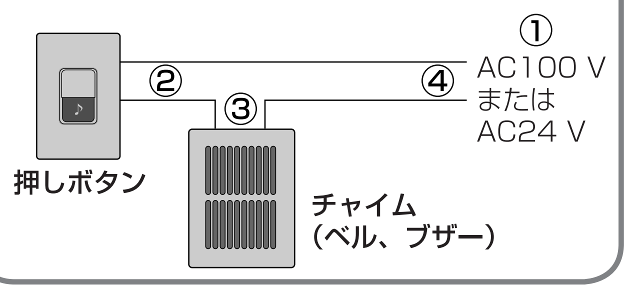
■ 既設の配線例と取り付け手順

乾電池の交換が不要なチャイムなど　A



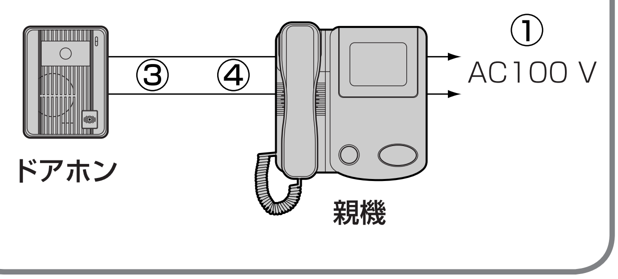
① トランスの電源線（AC100 V または 24 V）を外す
　※ トランスの電源線を、親機の速結端子に接続しないでください。
② 押しボタンの配線（2 芯）を外し、ドアホンに接続する
③ チャイムの配線（2 芯）を外し、両先端をつなぐ（ショートする）
④ 押しボタンとチャイムからの配線（2 芯）を外し、親機の速結端子に接続する
⑤ 親機の電源（AC100 V）を入れる

乾電池の交換が不要なチャイムなど　B



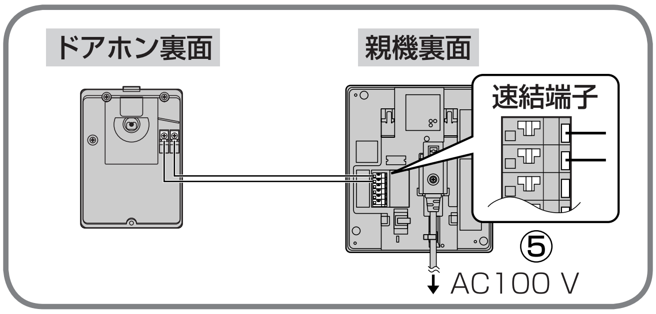
① 電源線（AC100 V または 24 V）を外す
　※電源線を、親機の速結端子に接続しないでください。
② 押しボタンの配線（2 芯）を外し、ドアホンに接続する
③ チャイムの配線（2 芯）を外し、両先端をつなぐ（ショートする）
④ 押しボタンとチャイムからの配線（2芯）を外し、親機の速結端子に接続する
⑤ 親機の電源（AC100 V）を入れる

テレビドアホンや音声ドアホン



① 既設の親機の電源線（AC100 V）を外す
② 既設の親機とドアホンを取り外す
　※ 既設の親機を取り外す前に、新しいドアホンを接続しないでください。
③ 既設のドアホンの配線（2芯）を新しいドアホンに接続する
④ 既設の親機の配線（2芯）を新しい親機の速結端子に接続する
⑤ 親機の電源（AC100 V）を入れる

■ 配線完了図



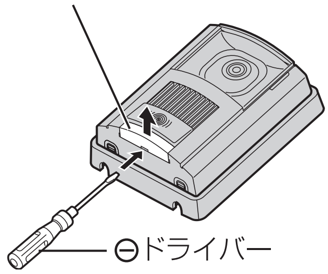
おしらせ

- 乾電池式のチャイム（ベル、ブザー）の配線を使用する場合は、押しボタンとチャイムを取り外し、押しボタンの配線をドアホンへ、チャイムの配線を親機へ、それぞれ接続してください。

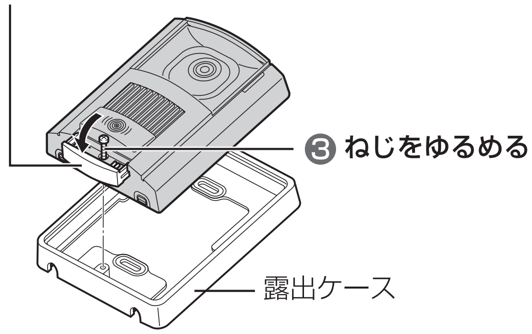
ドアホンを取り付ける

1 露出ケースを外す

❶ ねじカバーを上げる



❷ 手前に開ける

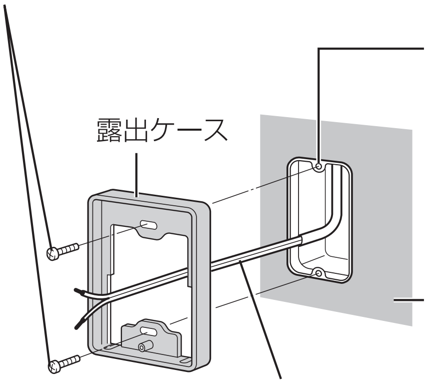


2 露出ケースを壁面に確実に取り付ける

■ スイッチボックスに取り付けるとき

小ねじ（4 mm × 25 mm 付属品）

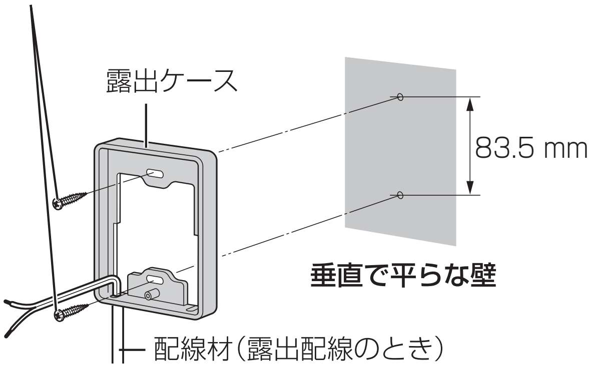
JIS1 個用スイッチボックス（カバー付き）
- カバーなしには取り付けられません。
- スイッチボックス底面には、水抜き穴を設けてください。



配線材
- 既設の配線を使用する場合、電源線（AC100 V など）の可能性があります。そのときは、電源を取り除いてください。（6 ページ参照）

■ 壁に直接取り付けるとき

木ねじ（3.8 mm × 20 mm 付属品）

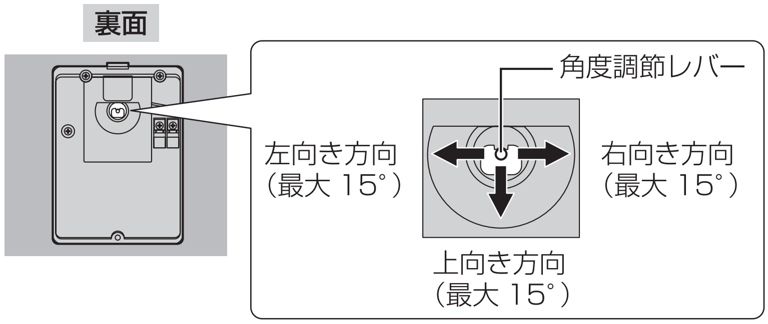


（次ページにつづく）

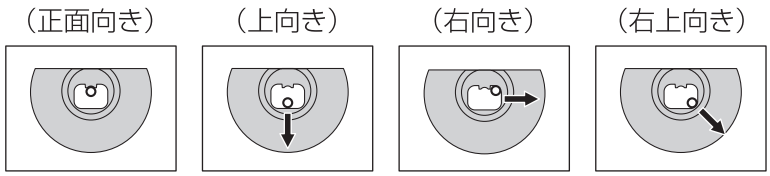
ドアホンを取り付ける（つづき）

3 カメラレンズの角度を調節する

●最大 15°の範囲内で、自由な角度に調節できます。



<角度調節レバーの調節例>

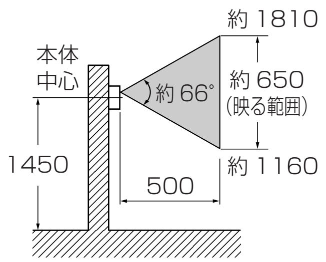


※左向き、左上向きにも調節できます。

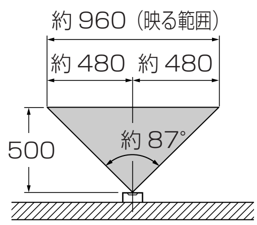
おしらせ
●カメラのレンズを「右上向き」または「左上向き」に設定すると、映像がひずむことがあります。

取り付け位置とカメラに映る範囲（単位：mm）

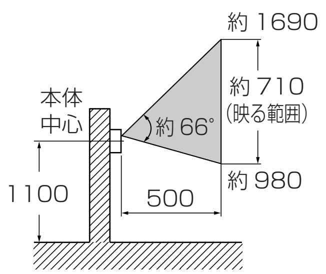
■ 上下方向（カメラ：正面 0°）



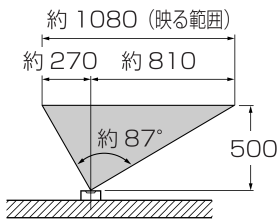
■ 左右方向（カメラ：正面 0°）



■ 標準より低い位置（1100 mm）に
取り付けるとき（カメラ：上向き 15°）



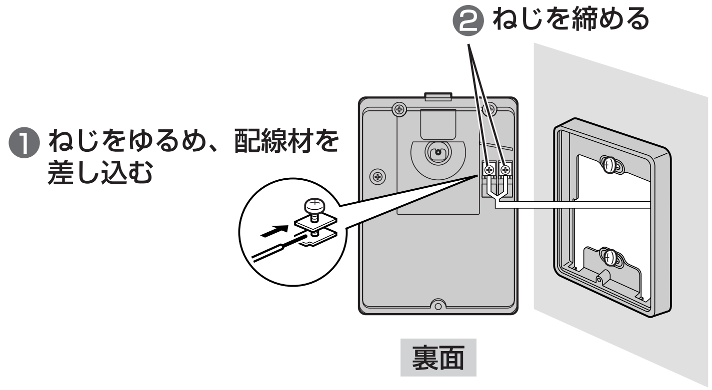
■ 正面より左または右に取り付けるとき
（カメラ：左または右向き 15°）



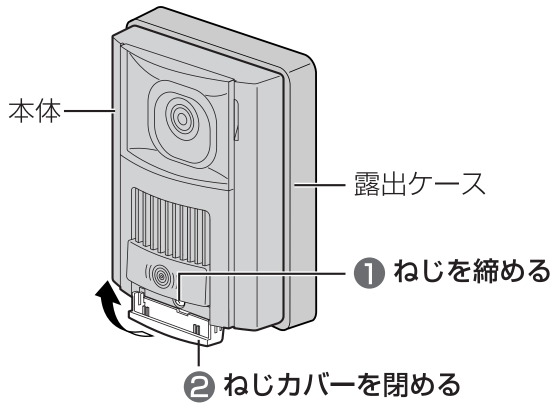
（例）左向き 15°

4 配線材を接続する

● 電源線(AC100 V など)は、絶対に接続しないでください。故障の原因になります。(6 ページ参照)

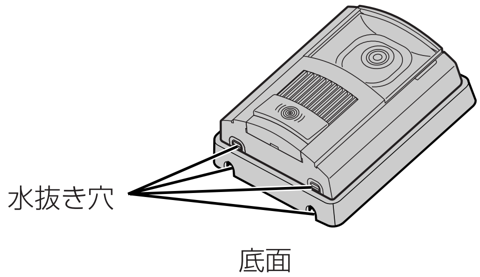


5 本体を取り付け、固定する



おねがい

● 雨水を抜くための水抜き穴(4 か所)は、ふさがないでください。



(次ページにつづく)

ドアホンを取り付ける（つづき）

おしらせ

● 下記のカメラ角度調節台（別売品）を使うと、ドアホンの取付角度を変えることができます。
詳しくは、カメラ角度調節台に付属の説明書をご覧ください。

（2005 年 12 月現在）

品　番	備　考	
VL-1301A	縦用	補正角度：上下方向 6°
VL-1302A	横用	補正角度：左右方向 30°

エントランスポールやサインポストへの取り付けについて

● 下記のエントランスポールやサインポストにも取り付けることができます。（2005 年 12 月現在）

エントランスポール：松下電工（株）製

型　式	品　番
9 型	CTP09SK, CTP09BK
10 型	CTP10S, CTP10B
WP03 型	DIP03B
WP04 型	DIP04B
WP05 型	DIP05B1, DIP05B2
ガーニッシュポール 4 型	DYF94331 □ , DYF94332 □

サインポスト：松下電工（株）製

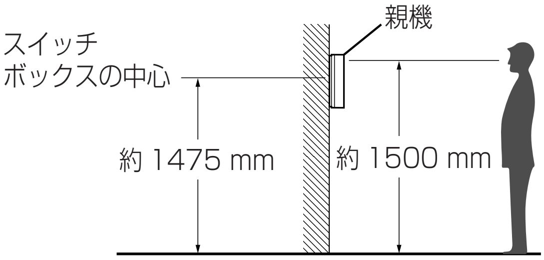
型　式	品　番
SP 型	CT470, CT470B, CT471, CT471B
SS 型	CT570, CT570B, CT571, CT571B
ニューM 型	CT3731, CT3731B
GS 型	CT560 □ , CT561 □ , CT562 □ , CT5622 □ , CT5623 □

● サインポストに取り付けるとき
- ➡ サインポストに取り付けられている呼出ボタン（ユニット部）を外し、ドアホン（露出ケースを除く本体部分）を取り付けてください。
- ➡ サインポストの蛍光灯回路（AC100 V）とは別のケーブルを使用し、新しく配線してください。
- ➡ カメラ角度調節台（別売品）は、使用できません。

親機を取り付ける

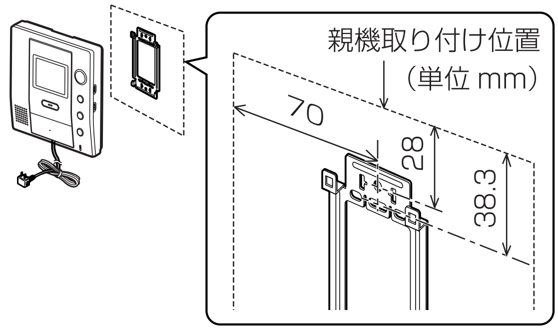
親機の取り付け位置(高さ)について

よくご利用になる方の目の高さにモニター画面の中心がくるよう取り付けてください。
(例)床から約 1500 mm の高さに画面の中心がくるように取り付けるとき



壁掛け金具の取り付け位置について

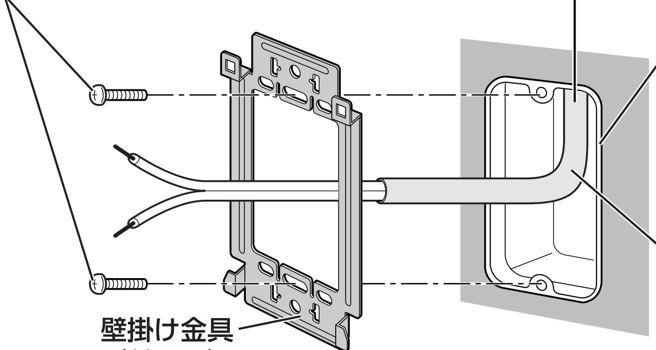
親機の取り付け位置が指定されている場合、壁掛け金具は下図の位置に取り付けてください。



1 壁掛け金具を壁面に確実に取り付ける

■ スイッチボックスに取り付けるとき

小ねじ(4 mm × 25 mm 付属品)



ドアホンへ

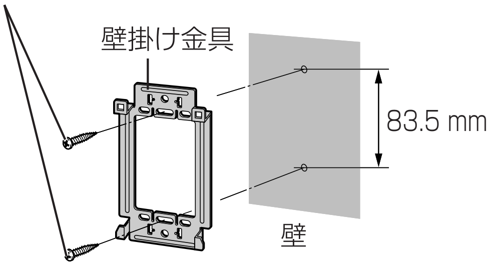
JIS1個用スイッチボックス(カバー付き)
- カバーなしには取り付けられません。
- 電源線を直結するときは、絶縁セパレーターを取り付けてください。

配線材
- 既設の配線を使用する場合、電源線(AC100 V など)の可能性があります。そのときは、電源を取り除いてください。(6 ページ参照)

壁掛け金具
(付属品)

■ 壁に直接取り付けるとき

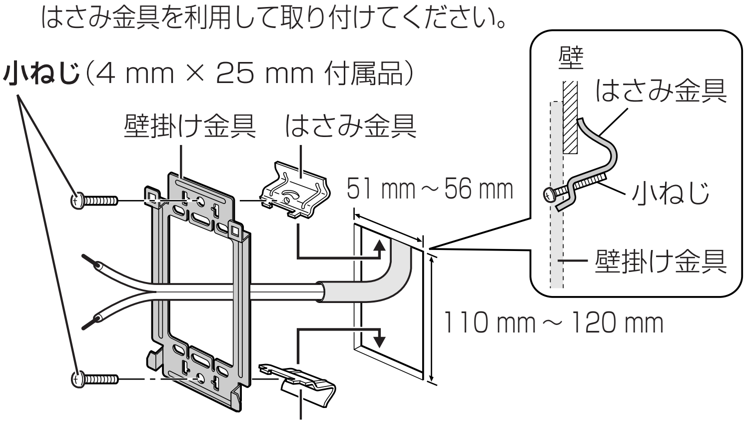
木ねじ(4 mm × 16 mm 付属品)



■ パネル壁に取り付けるとき

石膏ボードなどの壁に下図のように穴をあけ、松下電工(株)製のはさみ金具を利用して取り付けてください。

小ねじ(4 mm × 25 mm 付属品)



(例) WN3993020 のとき

• 松下電工(株)製

対 象 壁	はさみ金具品番
3 mm ～ 10 mm 厚の合板	WN3990K
7 mm ～ 18 mm 厚の石膏ボード	WN3993020

おねがい
- 壁掛け金具は、垂直で平らな壁に取り付けてください。

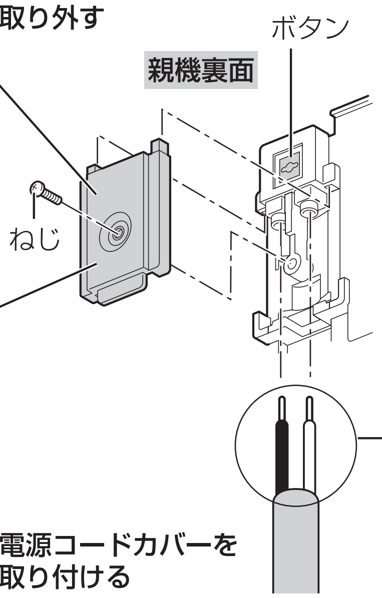
(次ページにつづく)

親機を取り付ける（つづき）

2 [AC100 V 電源線を直結する場合のみ]

電源線を接続する　電気工事士の資格が必要

❶ 電源コードカバーを取り外す

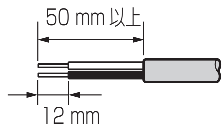


❹ 電源コードカバーを取り付ける

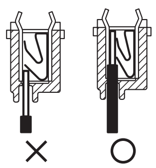
❷ ボタンを押しながら、電源コードを取り外す

❸ ボタンを押しながら、AC100 V 電源線を接続する

1. 被ふくを 12 mm むく
（線種：φ 1.6 およびφ 2.0 単芯線）



2. 奥まで確実に差し込む



〈AC100 V 電源線接続端子断面図〉

⚠ 注意

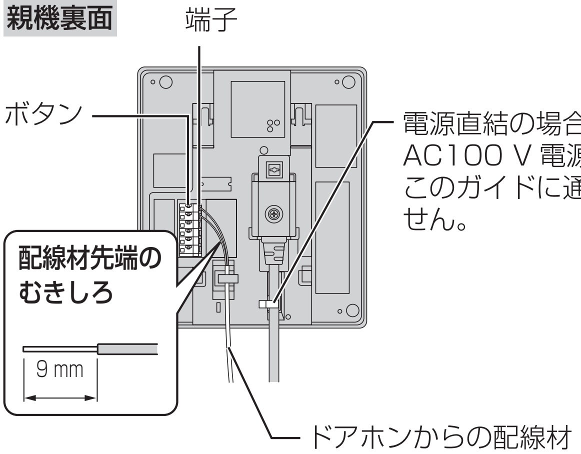
奥まで確実に差し込む

差し込みが不十分な場合、発熱の原因になることがあります。

3 配線材を接続する

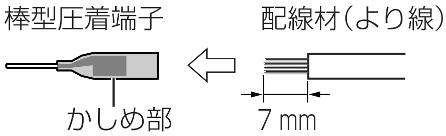
● 電源線（AC100 V など）は、絶対に接続しないでください。故障の原因になります。（6 ページ参照）

●配線系統図（14 ～ 15 ページ参照）に従って正しく接続してください。
●配線材の抜き差しは、各端子の横にあるボタンをドライバーの先などで押しながら行ってください。

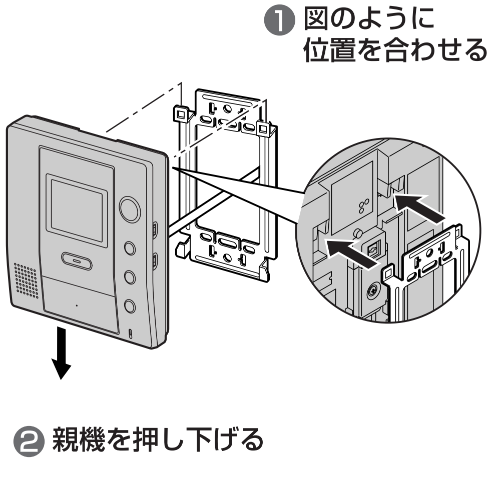


おねがい

●配線材の線種が「より線」の場合は、より確実に結線するため、棒型圧着端子（付属品）を取り付けてから接続してください。



4 親機を取り付ける

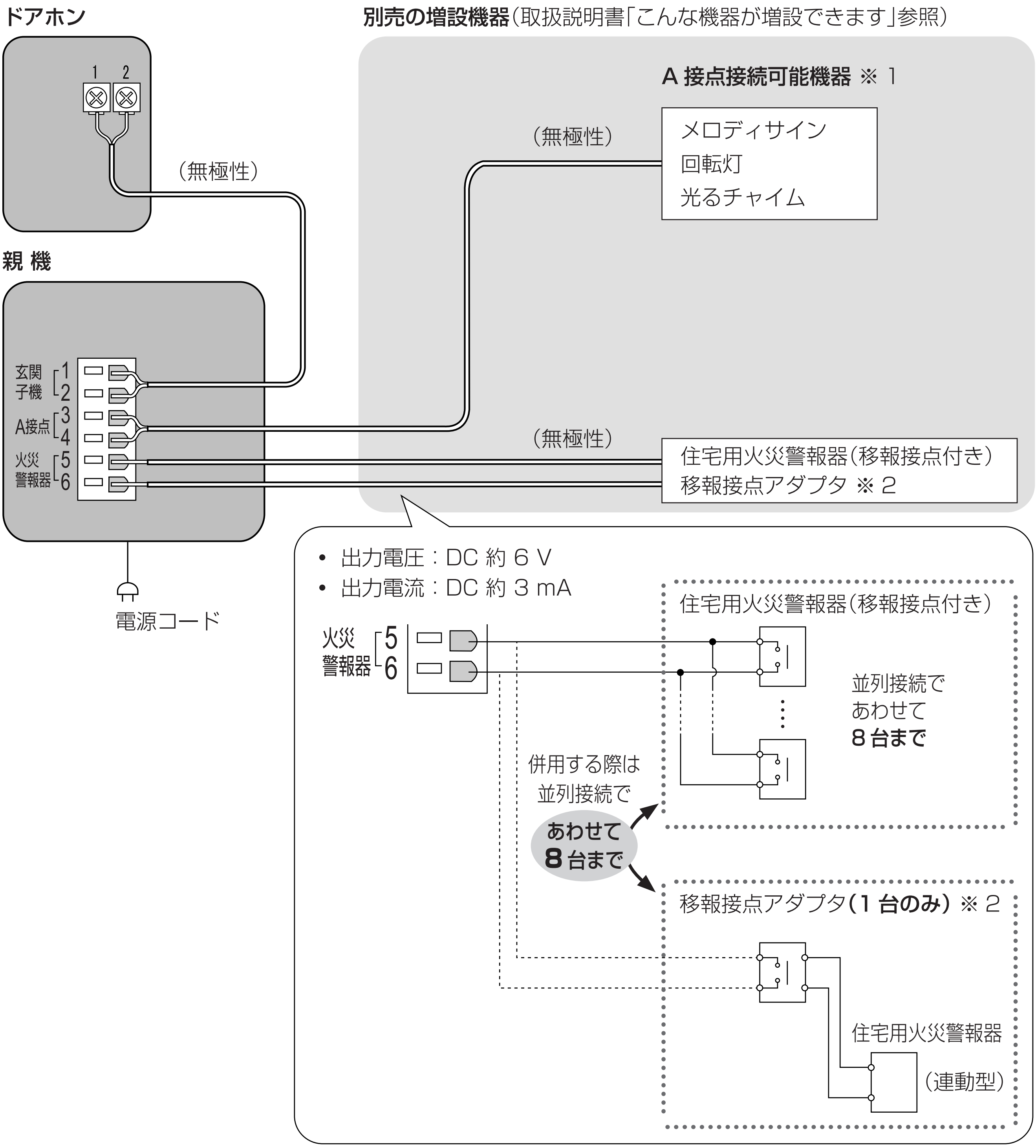


5 [電源プラグで使用する場合のみ]

電源プラグのキャップを外して、コンセント(AC100 V)に差し込む

配線系統図

以下の配線系統図および「線種と配線距離」に従って正しく配線してください。



※ 1 ● **下記の定格に適応した機器を接続してください。並列接続はできません。**(故障の原因になります)
- 定格負荷:AC、DC 24 V / 0.3 A 以下
- 最小適用負荷:DC 5 V / 1 mA

● ドアホンの呼び出しに応答すると、A 接点出力は OFF になります。応答しなかった場合、A 接点出力は約 30 秒間 ON になります。(動作の詳細は、接続機器の説明書をご覧ください)

※ 2 ●連動型の住宅用火災警報器を本機に接続するためのアダプタです。
➡ アダプタ経由で火災警報器を接続する場合は、アダプタおよび接続する火災警報器の説明書をご覧ください。

線種と配線距離

下表の線種・配線距離以外で使用されると、動作不良の原因になります。

配線区間	線　種	配線距離
親機～ドアホン	インターホン用平行 2 線式ケーブル 単芯線（mm）：φ 0.65 ～φ 0.8	100 m 以内

●別売品を接続するとき

配線区間	線　種	配線距離
親機～ A 接点接続可能機器	親機接続端子の許容線種 単芯線（mm）：φ 0.65 ～φ 0.8	接続する機器の 仕様に従う
親機～ 住宅用火災警報器（移報接点付き） 移報接点アダプタ	親機接続端子の許容線種 単芯線（mm）：φ 0.65 ～φ 0.8	50 m 以内

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
ホームネットワークカンパニー
〒812 - 8531　福岡市博多区美野島４丁目１番62号

PFQX2301YA　SC0905NT1115